

# 飛鳥

A S U K A

飛鳥とクルーズを愛する人のための  
クラブマガジン

NO. 99 SUMMER

飛鳥

A S U K A  
飛鳥とクルーズを愛する人のための  
クラブマガジン  
SUMMER NO.99

2019年8月20日発行

発行/郵船クルーズ株式会社 ASUKA CLUB事務局  
〒220-8147 横浜市中区みなとみらい2-1-1 横浜ランドマークタワー47階 TEL.045(640)5302  
発行人/坂本 潔  
ホームページ <https://www.asukaclub.co.jp/>



ASUKA CLUB



## 多島海に浮かぶ、小豆島

瀬戸内海は727の島々が浮かぶ日本最大の多島海。

飛鳥IIのデッキから眺めると、波のない穏やかな海面に  
太陽がキラキラと反射して、まるで鏡のよう。

ところが、瀬戸内海にはもう一つの顔がある。

干満差が大きいため、穏やかに見える水面下には強い潮流が大河のように流れている。

日本で一番潮流が速い鳴門の渦潮もあり、古来より瀬戸は航海の難所だったと言う。

そんな瀬戸内海で、淡路島に次いで2番目に大きな島が小豆島。

中国山地と四国山地に挟まれ、どちらからも乾いた風が流れ込んでくる。

晴天の日が多く、地中海に似た気候の中でオリーブや柑橘類、小麦がよく育つ。

クルーズにもぴったりのさらりとした空気が流れている。

波の間に間に、日本再発見

Rediscovery of Japan

photo by Tsuneco Nakamura

# 新たなステージへの 前奏曲がはじまる

2019年5月15日、郵船クルーズ本社で

坂本社長が飛鳥IIの改装を発表しました。

日本籍クルーズ船としては初めてシンガポールのドック

「センブコープマリンス社」でリニューアル工事をを行います。

工期は2020年1月中旬から45日間を予定。

今回の改装によって更に快適で

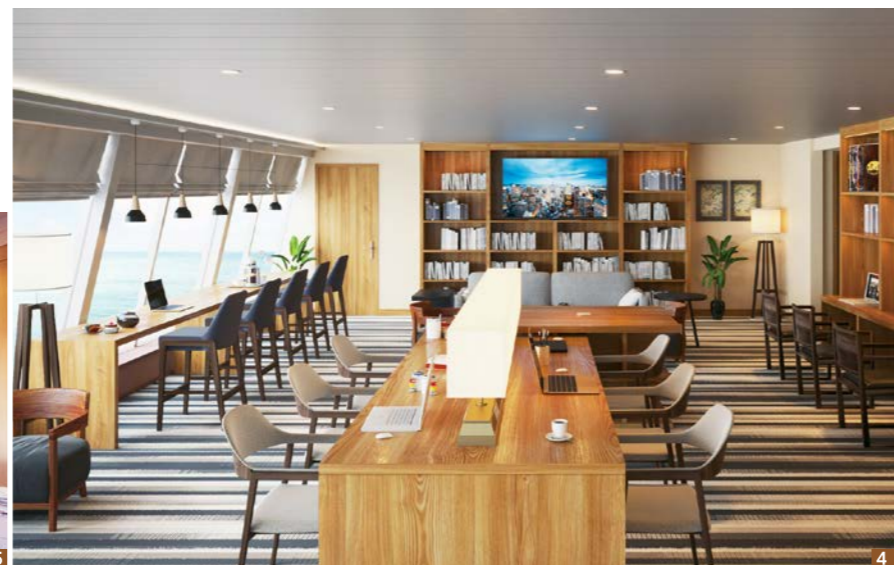
時代に合わせて進化したクルーズライフをご提供します。

# Prelude to Next Stage

特集◆  
飛鳥IIリニューアル



1 アスカプラザには大型LED画面を設置して、美しい映像によってエントランス空間を華やかに演出します。2 2人席を増やし、アイランド型のピュッフェカウンターが新装されるリドガーデン。3 露天風呂が船の最上階にできます。4 本を読みながらティータイムを。新たなくつろぎが生まれるイー・スクエア。5 よりグレードアップされるプレミアダイニング「ザ・ベール」。



露天風呂は停泊時および航路上の都合、天候、運用上の理由等により、営業時間が限られます。



# 2020年春 飛鳥IIの新たなスタート

記者会見では、郵船クルーズの坂本社長と工事を請け負うセンブコープマリン社のウオンさんとガンさんからお話を伺いました。



一つの目的に向かって一致団結を誓う。左からウオンさん、坂本社長、ガンさん。

飛鳥IIは2020年1月、ニューイヤークルーズ・サイパンクルーズの後、シンガポールでドック入りし、リニューアル工事を実施します。2020年に強化される環境規制に対応するための排ガス脱硫装置の搭載や、運航設備を中心とした改装、露天風呂の新設、レストランやラウンジなどのパブリックエリアの改装、全客室でのWiFi、ビデオオンデマンドサービスも開始します。

海外のドックでのリニューアル工事は日本籍のクルーズ船では初。センブコープマリン社は東南アジアで最大のドックを所有し、年間10〜15隻のクルーズ船の大規模リニューアルを手がける経験豊富な修繕ヤードで、日本郵船のLNGタンカーなども数多く手がけています。

45日間の工期を終えたあとに、2020年3月中旬のクルーズで披露目されます。

## 綿密な計画とコミュニケーションが鍵

これだけの大きなプロジェクトを短い期間で行うためには、綿密な計画が必要です。多くの造船所が客船の改装を手がけるようになりましたが、やはり客船文化を理解していないと、難しいのが現実です。私たちは50年以上の客船改装の実績があり、毎年10〜15隻の改装を手がけています。管理部門はもちろん従業員も客船の改装に特化した人材を揃えています。

これまでのやりとりで、郵船クルーズは徹底したプロフェッショナルで、日本の客船市場で非常に丁寧なビジネスをしていることがよく分かりました。これからさらに信頼関係を深め、密にコミュニケーションをとれば私たちは最高のチームになれると信じています。



センブコープマリン社  
ディレクター  
ウオン・リー・リンさん

クラウンジになります。施設が変わることです。初代飛鳥から長年磨きをかけた和のおもてなしを更に深化させ、リニューアルされた船内で心地よい時間をお過ごしいただきたいと考えています。

## コンセプトはBridge to A3

エースリー

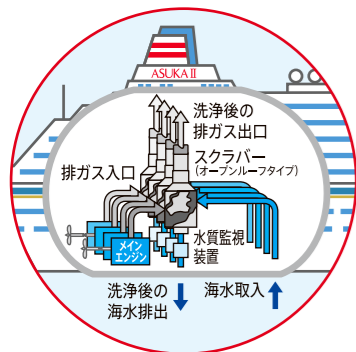
今回のリニューアルは本船が2006年にクリスタル・ハーモニーから飛鳥IIへ改装して以来の大規模なものとなります。アスカクラブ会員の皆さまが心待ちにしてくださっている新造船も、もちろん検討しております。今回は、その先へ繋げる「Bridge to A3」をコンセプトにリニューアルをまとめていきました。

派手に変えることを目的としたリニューアルではありません。お客さまが快適に過ごしていただくために何が必要かを考え抜きました。今回のリニューアルでトライアルを行い、お客さまの声を伺いながら、次の船への架け橋にしたいと考えております。

新たなくつろぎをご提案する新しいタイプの客室も生まれます。和モダンの落ち着いたインテリアと機能性を兼ね備えた和洋室です。また、私自身が一番期待しているのは、11デッキのイー・スクエアです。パームコートとの壁を取り払い、本を読みながらティータイムが楽しめるカフェスタイルのブリッジにしたいと考えております。



郵船クルーズ株式会社  
代表取締役社長  
坂本 深



スに船外から取り入れた海水をシャワー状に噴霧することで硫黄分を洗い流して除去する装置です。この装置を搭載することで、飛鳥IIは環境規制に対応した航海が可能になります。

また造水器を逆浸透膜式に刷新します。現在の蒸発式の造水器はエンジンの余熱を利用するため、停泊中は造水できません。新たな造水器は電気で作動するので、1日あた

ドック入りまで約半年、今が一番大事な時期です。ドックに入ったらすぐ工事に取られるように、詳細をしっかりと詰めておく。プロジェクトの成功は事前準備で9割が決まります。センブコープマリン社は客船の改装経験が豊富で、建材の手配なども詳しいので非常に頼りになります。ドック中は火災などあってはならないので、船舶部をはじめオフィサーも総出でワッチを付けて安全管理を徹底します。



船舶部 糸谷洋一  
Yoichi Itoya

**国際的な環境規制に  
排ガス脱硫装置の搭載で対応**

見えない部分のリニューアルについても教えてください。

2020年から船舶の排出ガス規制が強化されます。海洋汚染防止条約(MARPOL条約)に新たに加わった規制の一つで、海域で硫黄分0.5%未満の燃料油の使用が義務づけられることになりました。飛鳥IIは今回の改装で排ガス脱硫装置(SOxスクラバー)を搭載します。スクラバーは排出ガ

# ASUKAII RENEWAL PROJECT

もっと教えて、飛鳥IIのリニューアル!

飛鳥II改装プロジェクトに携わるメンバーに  
リニューアルの詳細を聞きました



広報チーム 歳森幸恵  
Yukie Toshimori

今回のドックで重点を置いた項目はご存知ですか?

**クルーズのベースとなる  
安心・安全の提供が最重要**

クルーズ会社としてお客さまにご提供しなくてはならないのが安心・安全です。これが一番の基礎で、これを抜きにすることはできません。お客さまには見えない部分ですが、国際的な環境規制に対応する排ガス脱硫装置の搭載、そしてエンジンや航海計器の大幅なリニューアルを行います。

それではさっそく、目に見える部分のリニューアルについて教えてください。

**アイランド型ピュッフェで  
より気軽にスムーズに**

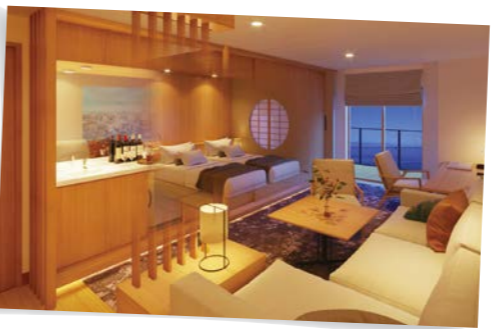
時間帯によっては列が長くなることのあるリドガーデンのピュッフェカウンターをアイランド型に改装します。サラダやフルーツ、焼き物、めん類などを独立したカウン

意。改装に伴い座席数が増えますので、お好きな夕食をお楽しみいただけるオープンシーティングへ生まれ変わります。



**和洋室はこれまでにない  
アイデアがいっぱい詰まっています**

アスカスイートを改装して新しいタイプの客室を2部屋つくります。和モダンを基調とした落ち着いたインテリアで、ベッドのある小上がりの部分には畳を敷きます。また、バーカウンターエリアにはミニシンクや、ミラーディスプレイテレビを設置



**お客さまの声を活かし  
時代に合わせたサービスも提供**

お客さまからもご要望の多い、WiFiサービスも拡充。全客室とパブリックエリア(一部をのぞく)でWiFiをご利用いただけるようになります。さらに、全客室のテレビで、お好きな映画をお好きな時間にご覧

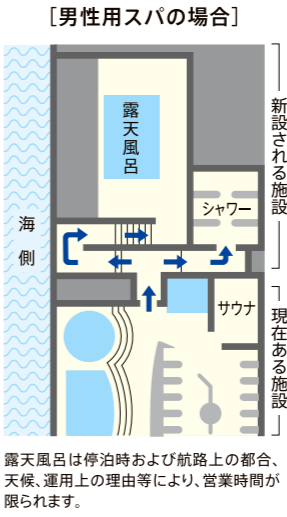
**航海計器も最新機器を装備  
造水器も刷新し、航路の自由度も増す**

航海計器はこれまで定期的刷新してきましが今回のリニューアルを機に、レーダーやGPS、航海情報記録装置(VDR)、国際船舶自動識別装置(AIS)などを大規模に入れ替えます。さらに、安全のために後方視界を確保したいというブリッジからの要望で、船尾に監視カメラを新たに設置します。



**大海原をのぞむ露天風呂  
洗い場も増設でお風呂の施設が充実**

露天風呂は、12デッキのウィンプルドンコート部分に新設されます。湯船の大きさは男女共6×3メートルほど。また、露天風呂に加えてシャワーブースも新設し、脱衣所のロッカーも増設します。充実したお風呂の施設をお楽しみください。



**プレミアムダイニングはさらに進化  
オープンシーティングを導入**

プレミアムダイニングプレゾは「ザ・ベール」と名前も新たにリニューアルされます。エントランスは現在の「海彦」側に変更。ベールに包まれているかのように、ひっそりとした廊下を歩いて奥へと進んでいきます。廊下側には海の見える二人掛けのお席をご用意

ただけるビデオオンデマンドサービスを開始します。

飛鳥IIは非日常の場ではありませんが、その非日常の中でお客さまお一人一人がご自分らしく暮らしていただけるような、そんな新しい過ごし方をご提供できればと願っております。どうぞ、これからも進化する飛鳥IIにご期待ください。

り730トンの造水が可能になります。補水港に制限されず、航路設計にも自由度が増すのではないかと思います。

初めての海外ドックですが、一番大切なことはなんですか?

**とにかく事前準備で成功が決まる  
ドック中は安全第一**

※記載内容は2019年7月時点のものです。CG画像や改装内容は変更・中止となる場合がございます。

**船旅には何かを  
発見できそうな  
期待感がある**

私はブラジルのサンパウロ生まれで、日本に初めて来たのが3歳。ちょうど祖母が亡くなったときでした。来るときは母と二人で飛行機に乗りましたが、再びブラジルに帰るときは横浜港から船に乗って帰りました。

当時のことは、幼かったのではっきりとは憶えていないのですが、母は懐かしがって、あんなことがあった、こんなことがあったとよく話してくれます。今でも海に出るといのは夢があつて、新しい何かが発見できそうな、そんな気持ちがあります。もしかすると、クルーズを楽しんでいるお客さまもそうなのかもしれないですね。

船旅は時間を少しだけ止めてくれるようなところがありますね。ちょっと立ち止まって、お休みする。これまでのことを振り返ってみたり、これからのことを考えてみたり

するのに、とてもよい機会だなと感じます。

そうだ、今思い出しましたけれど、中学一年生の時に、姉と叔母夫婦と一緒にグアム島まで客船に乗せてもらったこともありました。イギリスの船で10日間ぐらゐの船旅でした。船内の映画館で映画を見たり、プールで泳いだり、ダンスしている大人達を眺めたり。とても楽しい時間でした。



透明感のあるリサさんの歌声に、お客さまもうっとり。

「セレナータ・カリオカ」というアルバムをつくったときに、写真撮影でリオデジャネイロから小一時間ほど離れたイタクルサというビーチリゾートに行きました。小舟に乗って撮影をしていたら、急

Photographs:Yosbio Yuda

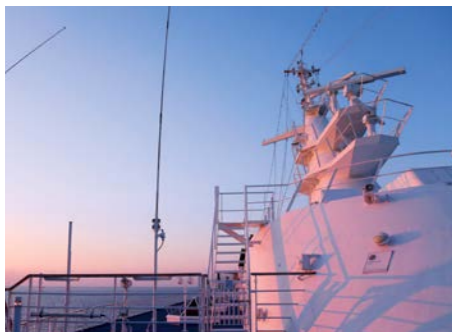


うらかな週末、小野リサさんが飛鳥IIに春風を運んでくれました。ささやきかけるようなナチュラルな歌声で、ギャラクシーラウンジいっぱいのお客さまを魅了しました。

**海の上だから  
時間と余韻を  
共有できる**

飛鳥IIに初めて乗船したのにお天気が悪くなってきて波に揺られてしまつて。それでも私だけ元気でしたから、船が合っているのかもしれないですね。

飛鳥IIに初めて乗船したのは2011年の3月でした。東日本震災の直後だったので、こんな時にコンサートをやっているのか、いけないのか。たくさん話し合いました。災難はあったけれど、私のステージを楽しみにしてくださっている人もいるのだからということ、お仕事を受けさせていただきました。



飛鳥IIへの乗船は今回で3回目になります。たとえ家族で旅行していても、旅の目的はそれぞれ違つたりします。でも、船旅なら同じ空間に一緒にいますから、まとまつた時間をともに過ごすことができますよね。そこが素敵だと思います。

クルーズでは一つの時間を共有しているという感覚があります。船上のステージもお客さまと一体感を感じられる時間だと思つています。余韻を共有できるというか。海の上だから気持ちもゆったりとしますね。今回のクルーズではお食事もおいしいメニューで、とてもおいしくいただきました。ずっとお天気もよくて、青空に富士山がきれいに見えていました。

今回は6月の「ハワイ・アラスカグランドクルーズ」でホノルルまで乗船します。約10日間の船旅。毎日忙しくしているの、少しご褒美をいただけたような気持ちで、とても楽しみにしています。海の上では電話もかかってこな

いし、でもそれが本来あるべき状態なんですよ。普段はゆっくり本を読んだりする時間もないので、本を持って乗船したいなと思つています。

今から、次のクルーズでは何を歌おうかなと少しずつイメージしています。最近はおサノヴァだけじゃなく、ジャズやハワイアン、日本の歌も歌うんですよ。ここ数年、〈音楽の旅〉というのを続けていて、世界各地の楽曲を歌っています。日本の懐かしい歌もあるので、是非楽しんでいただきたいです。

※2019年4月「A-styleクルーズ」春彩」中のギャラクシーラウンジで。



Lisa Ono

ブラジル・サンパウロ生まれ。1989年デビュー。ポサノヴァの神様アントニオ・カルロス・ジョビンや、ジャズ・サンバの巨匠ジョアン・ドナートら著名なアーティストと共演。海外公演も積極的に行っている。これまでに日本ゴールドディスク大賞「ジャズ部門」を4度受賞。最新アルバム「LISA CAFE II〜Japão especial」では日本のヒットソングをポサノヴァにアレンジしている。

小野リサさん

My Favorite  
ASUKA CRUISE INTERVIEW



# 香りでクルーズをより華やかに印象づける

飛鳥IIに乗船された際、アスカプラザで心地よい香りがしていることにお気づきでしょうか？  
この春から、アロマによる香りの空間演出が始まりました。

## 旅の思い出がより鮮明に 香りと記憶の不思議な関係

「あれ、この香りは……」と、何かの香りを感じたときに、以前にその香りを嗅いだときの記憶が鮮明によりみがえってきたという経験はありませんか？人間の持つ五感のうち、嗅覚だけが脳の感情や記憶をつかさどる部分にダイレクトに伝わります。そのため、香りは感情や記憶に働きかける力が非常に強いと言われているのです。

今年の4月から、船内アスカプラザの他に、横浜港に新設されたアスカラウンジ、そして郵船クルーズ本社のエントランスで、天然アロマによる香りの演出を開始しました。アロマ導入の狙いをブランド戦略室の高宮室長に聞いてみました。

「ブランド戦略室では、五感に訴え

は、アットアロマ社の担当者である下田さんは飛鳥IIの元クルーです。最初に提案された香りは3つ。上質な空間を感じさせる香りや、海をイメージさせる爽やかな香りなど、飛鳥IIをよく知っている下田さんが選んだ香りほども飛鳥IIのイメージにふさわしいものだったそうです。

陸上の社員と船上のクルーがそれぞれ投票を行って、最終的に日本船らしい和の要素をとり入れたブレンドオイル「EN(艶)」が選ばれました。日本人にとってなじみ深いヒノキの香りが懐かしさを感じさせ、南国の花イランイランは華やかで幸福感のある印象を与えます。希少価値の高いネロリはビ

かける飛鳥ブランドということを考えています。中でも、嗅覚は未開拓の分野でした。そこで、飛鳥IIをより印象づけていただくために、香りによる空間演出を取り入れました」

アスカプラザに足を踏み入れた瞬間に、すてきなアロマの香りに包まれると、これから始まるクルーズへの期待感も高まります。さらに、香りと共に飛鳥IIを記憶の中に留めていただく。そして、次回クルーズに乗られたときに

「これは飛鳥IIの香りだ」と認識していただき、前回の楽しい思い出がよみがえるきっかけにもなるのだそうです。

## 飛鳥IIの空間をひきたてる 上質で華やかな香り

飛鳥IIの香りはどのように選ばれたのでしょうか。今回採用されたアロマはアットアロマ社の「EN(艶)」です。実

ターオレンジの花の香りで、上質でありながらも親しみやすさを感じさせます。和のおもてなしを提供する飛鳥IIらしく、華やかでありながら上質感のある香りになっています。

アロマはディフューザーから細かなミスト状になって空気中に噴霧され、風や人の動きに運ばれて空間の中に広がっていきます。ところが、ご存じのようにアスカプラザは6デッキへの吹き抜けになっています。何度もテストを重ねて、ディフューザーの置き場所や濃度の調節を行いました。現在は、ディナーの1時間前にディフューザーを止めて、お食事の香りを楽しんでいただくようにしています。

## 将来的には飛鳥オリジナルの香りをつくりたいです



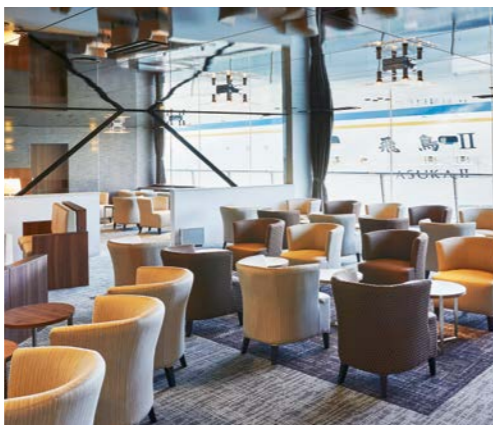
お客さまからもご好評をいただいています。アスカプラザは1日に一度は必ず訪れる場所ですので、アロマによって心地よくリラックスしていただきたいです。今後は飛鳥オリジナルのアロマをつくる計画もあります。船内のショップで販売し、ご家庭でも飛鳥IIと同じ香りを楽しんでいただけるようになるかもしれません。どうぞお楽しみに。

ブランド戦略室 室長 高宮洋一 Yoichi Takemura

98年郵船クルーズ大阪支店に入社。01年本社へ異動。ソアーマネージャー、本社運航部、営業部、管理部を経て、17年よりブランド価値向上推進室長に着任。19年にブランド戦略室に名称変更。旅行が好きで、特に旅先の街を散策するのが好きです。



本社エントランスでも香りのアイデンティティで飛鳥らしさを。



アスカラウンジでは、これから始まる旅への期待をアロマが高揚させます。



乗船された瞬間にアロマの香りに包まれます。



「EN(艶)」はアットアロマ店舗で購入できます。



元クルーの下田真実さん。飛鳥IIの香りを手がけるのが夢でした。



香りがうまくまわっているか定期的にコーディネートしています。



アロマには空間に季節感やインテリアとの調和をもたらすデザイン性や、リラックスや抗菌効果などの機能性があります。

やわらかな春の日差しにつつまれて  
気分も晴れやかな洋上の週末

4月初旬、週末を利用して気軽にクルーズが楽しめることで人気のある  
2泊3日のA-styleクルーズが開催されました。  
今回はボサノヴァ歌手の小野リサさんとイタリア料理の日高良実シェフをゲストに迎えました。



小野リサさんがやさしく歌うボサノヴァのメロディーにうっとり

華やいだ気分にあふれた  
特別な週末が始まる

夕暮れ間近、飛鳥IIはベイブリッジをくぐり横浜港を出港していきます。デッキでは、大さん橋のターミナルが見えなくなっても、気持ちのよい春風に吹かれながら、東京湾の夕焼けを楽しむお客さまの姿がありました。

今回のA-styleクルーズは、春を楽しみ尽くす3日間のプレミアムクルーズです。初日のディナーは飛鳥IIの西口総料理長による「春の日ディナー」。身体にやさしいスーパーフードと旬の食材をふんだんに使い、心が浮き立つよう

な美しい色彩で、味覚はもちろん視覚も楽しませてくれました。

翌日は、朝からすっきりと晴れわたり、早朝からウォーク・ア・マイルやストレッチ体操で元気に身体を動かすお客さまも。やがて、飛鳥IIが相模湾から駿河湾へと入ると、富士山の美しい姿が見えてきました。午後はのんびりとラウンジで過ごしたり、教室に参加したり、皆さん思い思いにクルーズを楽しんでいらっしゃいました。

ワインセミナーでは、3種のイタリアワインをテイस्टイング。今夜のスペシャルディナーへの期待も高まります。ハーバリウムアレンジメント教室では、透明なボトルの中に春らしいピンクのプリ



船上でしか味わうことのできない日高良実シェフのスペシャルディナー

やさしいボサノヴァと名店のイタリア料理

ザードフラワーをアレンジしてオイルを注ぎ、世界でたった一つの作品を完成させました。

待ちに待った2日目の夜。ギャラクシーラウンジでは小野リサさんのスペシャルステージが行われました。ボサノヴァはもちろん、ラテンやジャズ、「ブルー・ライト・ヨコハマ」などの日本のヒット曲まで。リサさんが歌うと、どの曲もボサノヴァの世界観にピッタリと合うので不思議です。ささやくようなやさしい歌声に、心が癒やされるひとときでした。

そして、ディナーはイタリア料理の名店「アクアパッツァ」の日高良実シェフによるスペシャルディナーです。店名にもなっているアクアパッツァは日高シェフの料理の原点です。今回は特別に飛鳥IIでしか食べられない、真鯛のアクアパッツァ飛鳥風をつくってくださいました。

週末を利用して乗船できるA-styleクルーズ。ゲストのステージも多彩で、めったに行けない有名レストランの料理も楽しめる大変ご好評をいただいています。次回のA-styleクルーズは9月と10月に催行されます。是非ご参加ください。



飛鳥IIでしか食べられない  
こだわりのアクアパッツァ

イタリア料理の特徴は、その土地の旬のものを活かすことです。今回は飛鳥IIのために、春野菜や日本のお魚を使ったメニューを考えてきました。アクアパッツァは余計なものを一切入れずに、魚そのものの味をひきだす漁師料理です。これを是非、洋上で味わっていただきたいと思い、アクアパッツァ飛鳥風としてお出しました。これは私のお店でも出していないので、飛鳥IIに乗らないと食べられません。私は海が大好きなので、洋上での仕事はテンションが上がります。

日高良実 シェフ  
Yoshimi Hidaka

イタリア料理の魅力を知り、フランス料理の道から転向。イタリア各地での修行を経て、1990年に「アクアパッツァ」をオープン。

気持ちの良い春の日差しがふりそそぐ



朝のストレッチで元気にスタート



春色のお花でつくるハーバリウム



ダイニングのワインセミナーは大人気



ランチは海鮮たっぷりの春らし寿司



予告

A-styleクルーズ～秋彩～

■ 2019年9月27日(金)～29日(日)  
■ 横浜→神戸 ■ 108,000円～531,000円  
ステージ:岩崎宏美さん、国府弘子さん、  
ゲストシェフ:落合 務さん

博多発着 A-styleクルーズ

■ 2019年10月12日(土)～14日(月・祝)  
■ 博多→博多 ■ 106,000円～534,000円  
ステージ:八神純子さん、ゲストシェフ:落合 務さん

※詳しくはパンフレットやホームページをご参照ください。